

アメリカ前衛演劇界の鬼才、リチャード・フォアマン 来日

The Bridge Project をめぐって

Melbourne / Australia
Lisbon / Portugal
Loughborough / United Kingdom
Giessen / Germany
Kyoto / Japan

part.1

公開レクチャー The Bridge Project をめぐって

2006年11月25日 日

【第1部】13:00～14:15 「ワールド・ワイド・プロジェクトの全貌」
スピーカー:リチャード・フォアマン、ソフィー・ハヴィランド

【第2部】14:30～16:15 「ニューヨーク・アート・シーンの鬼才、その軌跡」
スピーカー:リチャード・フォアマン

聞き手:内野 儀 (演劇評論家・東京大学大学院教授) ※共に英語・逐次通訳あり

【会場】京都造形芸術大学 映像ホール (人間館 地下1階)

【料金】入場無料 【定員】100名 (要予約/先着順)

まさに京都で進行中の国際プロジェクトについて、その中心を担うアーティスト2人がレクチャー。
第2部では、鬼才リチャード・フォアマンが自らの創作、演出について語ります。

part.2

リーディング公演 パーマネント・ブレイン・ダメージ

2006年11月25日 日 17:00開演 (16:30開場)

【会場】京都造形芸術大学 青窓館1階 Aスタジオ (京都市左京区白川通東鞍馬口通西入)

【作】リチャード・フォアマン (翻訳 青野智子) 【監修】川村毅 (演出・劇作家 京都造形芸術大学助教授)

【演出・美術】杉原邦生 (京都造形芸術大学大学院 修士課程)

【出演】池戸宣人、黒田政秀、谷本健人、中本章太

【料金】入場無料 【定員】40名 (要予約/先着順)

1996年NY初演、97年には「第三エロチカ」(演出:川村毅)による大阪、東京公演が行われた本作。
ト書きもなく、役者が何人もわからない。まるで思索の流れを見ているようだ、といわれるフォアマン
の劇作に若手演出家 杉原邦生が挑みます。

*演出の都合上、舞台上での大量の喫煙が予定されています。あらかじめご了承ください。

【Part1, 2 共通 申し込み方法】お名前・電話番号を明記の上、舞台芸術研究センターまたは
京都芸術劇場チケットセンターまで事前にお申し込みください(お問い合わせ先は裏面をご覧ください)。

part.3

Music Bridge Night

～巻上公一&イクエ・モリによる音楽パフォーマンス～
リチャード・フォアマンのテキストを使って

2006年11月26日 日 19:00開演 (18:30開場)

【会場】京都芸術センター 1階 フリースペース (京都市中京区山伏山町546-2)

【出演】巻上公一(アーティスト・音楽家)、イクエ・モリ(作曲家・インプロヴァイザー・パフォーマンス)

【共催】京都芸術センター

フォアマンに早くから関心を寄せていた巻上は、その戯曲を自ら演出、また日本初のフォアマン研究書「反響マシーン」を発行(鴻英良と共編/2000年 勁草書房)するなど、積極的にその活動を紹介してきました。今回は、フォアマン演劇のコンセプトといえる「マニフェスト」など、そのテキストをベースにした音楽パフォーマンスを行います。
巻上の自由自在な声やテルミンに加え、ゲストにNYで活躍するイクエ・モリを迎え、ライブ・パフォーマンスです。

【料金】一般 前売1,800円 当日2,000円

学生&ユース(25才以下) 前売1,300円 当日1,500円

※学生&ユース券は学生証か年齢のわかるものをご提示ください。

※全自由席

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

【チケット取扱】●京都芸術劇場 チケットセンター TEL 075-791-8240 (平日10～17時)

●京都芸術センター チケットセンター (10～20時 窓口販売のみ)

The Bridge Projectをめぐって

今秋11月、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センターでは、アメリカ前衛演劇界の鬼才、リチャード・フォアマンと、若手アーティストとして期待の集まるソフィー・ハヴィランド(共に劇作・演出家)との共同プロジェクト「The Bridge Project (ブリッジ・プロジェクト)」を開催。その関連企画として3つの公開イベントを行います。

すでにアメリカ演劇における神話的存在といわれながらも、現在も第一線で新作を発表し続け、古典作品やオペラの演出でも世界的な評価を受けるリチャード・フォアマン。プロジェクトについてはもちろん、様々な角度からフォアマン独自の世界を探ります。演劇界のみならず、美術や音楽、映像など、様々なアートに影響を与えるその活動を間近に知るチャンス、この貴重な機会をぜひお見逃しなく!

The Bridge Project とは?

フォアマン、ハヴィランドによる国際プロジェクト。現在までにオーストラリア、ポルトガル、イギリス、ドイツのアーティストや大学と協働しながら、「舞台作品での使用」を強く意識した映像素材を撮影するワークショップを行ってきました。その素材については、学生を含む参加アーティストすべてに使用権が与えられます。つまり、同じ素材が、複数の新たな舞台・映像作品に向かって開かれていることが大きな特徴といえるでしょう。20世紀以降の舞台芸術にとって最大のトピックのひとつである、映像文化と舞台の間の創造的な関係性が、このプロジェクトを通じて、探り当てられようとしています。

※京都プロジェクトの参加募集は終了しました。

The Bridge Project:
An international art initiative created by
Richard Foreman and Sophie Haviland



プロフィール

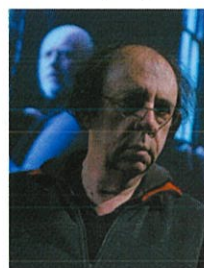


Photo: Paulo Court

Richard Foreman リチャード・フォアマン 劇作家、演出家、デザイナー

1937年ニューヨーク市生。59年ブラウン大学卒業。62年にイエール大学で修士号を取得。68年に「オントロジカル・ヒステリック・シアター」を創設。劇作・演出・舞台デザインをすべて一人でこなし、間もなく国際的に絶大な評価を得るアーティストとなる。フランス、イタリアをはじめ海外公演も多数。日本でも2000年『パッド・ボーイ・ニーチェ!』(新宿パークタワーホール)を上演している。これまで5作品が、オビエ賞を受賞¹。他に演出賞と「長期にわたる業績」賞で4つのオビエ賞を受賞。92年にはAmerican Academy and Institute of Arts and Lettersの年間文芸賞を受賞。91年にはNEA(全米芸術基金)の「演劇における終身功労賞」を初代受賞者のひとりとして受賞。95年からは「独創性に富んだビジョンとアメリカ前衛演劇の発展に寄与した」という理由で、マッカーサー・アワード²を受賞。

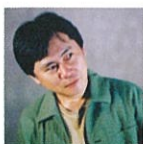


Sophie Haviland ソフィー・ハヴィランド 劇作家、演出家、プロデューサー

1992年オーストラリアからNYに移り、オリジナルの演劇作品を作・演出、マルチメディア作品の創作、古典/現代作品の演出を手がける。2000年、フォアマンと共同で、オリジナル作品「Bad Behavior」を発表。ロサンゼルス・タイムズ紙のトップ10作品に挙げられる。プロデューサーやアーティストとして、ウースター・グループ、Bang on a Can, Ridge Theater, Three Legged Dogs, Big Dance Theater, 映画監督ハル・ハートリーなど仕事を行ってきた。93~99年までオントロジカル・ヒステリック・シアターのマネージング・ディレクターとして、公演や海外ツアーをプロデュース。オントロジカルではBlue Print Seriesを立ち上げ、95年にオビエ賞を受賞。

¹年間ベスト・プレイ賞として「Rhoda in Potato land」「The Cure」「Film is Evil: Radio is good」。98年には二つの作品「Pearls for Pigs」「Benito Canova (Gnostic Eroticism)」がベスト・プレイ賞を共同受賞。
²マッカーサー・アワード 推薦でしか受けられないため、「天才」マッカーサーグラントと俗称で呼ばれている。マッカーサー財団が助成する科学者、文学者、芸術家への奨励を問わない5年間継続の助成。

[part.3 出演者プロフィール]



巻上 公一 まきがみこういち アーティスト、音楽家

現代的ヴォーカリストとして、ヴォイス(非言語的声帯術)を使った即興演奏、トゥバ共和国の喉歌ホーメイの研究と歌唱、テルミンと声のシンクロ、口琴との融合など 独自のシーンを作り上げ、先駆的な役割を担う。即興とソングが共存する方法論で独自の活動を今なお続けるバンド、ヒカシューのリーダーとして作詞、作曲を手がける。国内外のアーティストとの共演も多く、高橋悠治、テレク・ベイリー、ジョン・ゾーン、デイヴィッド・モス、フィル・ミントン、メレディス・モンク、などと演奏や録音を行ってきた。



Photo: Zhang Huang Lin

イクエ・モリ いくえ・もり 作曲家、インプロヴァイザー、パフォーマンス

1977年に渡米、ドラマーとして活動開始。ジョン・ゾーンらと出会い数多くのレコーディングに参加、アート・リンゼイ、ティム・ライトと共に「DNA」を結成、伝説的なカルトバンドとして名を残す。2000年にはPCを使い始め、さらに表現の幅を広げる。近年は、シルヴィウ・クロヴァジェ、スージー・イバラと共に「Mephisto」、Haco、恩田晃とのトリオ、ジョン・ゾーン、マイク・パットンと共に「Hemophilic」などで活躍。



「過去のThe Bridge Projectより」

【主催/お問合せ/お申し込み】 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
TEL 075-791-9437 FAX 075-791-9438 e-mail info@k-pac.org http://www.k-pac.org/

【チケット/お申し込み】 京都芸術劇場チケットセンター (平日10~17時)
TEL 075-791-8240 e-mail ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

【会場アクセス】 Part.1,2...京都造形芸術大学

- JR「京都」駅・阪神「三条」駅・阪急「河原町」駅より京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分)
- 市営地下鉄「丸太町」駅・「北大路」駅より京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪「出町柳」駅より叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分。またはタクシーで10分

※駐車場はございません。
Kyoto Performing Arts Center
Kyoto University of Art and Design
2-116 Uryuyama Kitashirikawa
Sakyo-ku Kyoto 606-8271 JAPAN



【会場アクセス】 Part.3...京都芸術センター

- JR「京都」駅より地下鉄「四条」駅、阪急「烏丸」駅24番出口より徒歩約3分。
- ※駐車場はございません。
- 〒604-8156
京都市中京区室町通御薬師下
山伏山町546-2
KYOTO ART CENTER
546-2 Yamaooshiyama-cho, Nakagyo-ku,
Kyoto 604-8156 JAPAN
TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004
URL: http://www.kac.or.jp
E-mail:kacinfo@kac.or.jp



The Bridge Project
【制作】竹下暁子(KPAC)、森真理子
【企画協力】奥山緑

【Flier Design】高田華子